

学校コード F117310105512
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
北陸学院大学 教育学部 初等中等教育学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人 北陸学院
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	総合政策課
職名・氏名	カチユウダイリ 課長 代理 トピアス史 ^{フミ}
電話番号	076-280-3858
(夜間)	076-280-3858
e-mail	project@hokurikugakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学部

＜初等中等教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 北陸学院

(2) 大学名

北陸学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1396

石川県金沢市三小牛町イ11番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クスマト シロウ) 楠本 史郎 (平成19年4月)		
学長	(クスマト シロウ) 楠本 史郎 (令和元年4月)		
学部長	(ナカジマ ケンスケ) 中島 賢介 (令和5年4月)		
学科長等	(フクエ アツヒロ) 福江 厚啓 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 初等中等教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	25人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	100人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.52倍	一倍	0.52倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.52					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	13 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
令和5年度	13 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 初等中等教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
北陸学院科目	北陸学院セミナーⅠ	1通	1								2
	北陸学院セミナーⅡ	2通	1								2
	キリスト教概論Ⅰ	1前	1								1
	キリスト教概論Ⅱ	1後	1								1
	キリスト教人間論Ⅰ	2前	1								1
	キリスト教人間論Ⅱ	2後	1								1
	小計(6科目)	-	6	0	0	0	0	0	0	0	0
一般教養科目	郷土の文学	1後		2							1
	日本国憲法	1前	2								1
	青年の心理	1前		2							1
	食と健康	1後		2							1
	政治学	1後		2							1
小計(5科目)	-	2	8	0	0	0	0	0	0	0	5
大学共通科目 言語教育科目	日本語基礎	1前			1						1
	英語基礎	1前			1	1					
	英語AⅠ	1前		1							1
	英語AⅡ	1後		1							1
	英語BⅠ	1前		1							1
	英語BⅡ	1後		1							1
	英語CⅠ	1前		1							1
	英語CⅡ	1後		1							1
	英語DⅠ	1前		1							1
	英語DⅡ	1後		1							1
	英語EⅠ	1前		1		1					3
	英語EⅡ	1後		1		2					3
	英語FⅠ	1前		1							2
	英語FⅡ	1後		1							2
	アクティブ・イングリッシュA	1前		1		1					
	アクティブ・イングリッシュB	1前		2		1					
	アクティブ・イングリッシュC	1前		3		1					
	中国語Ⅰ	2前		1							1
	中国語Ⅱ	2後		1							1
	フランス語Ⅰ	2前		1							1
	フランス語Ⅱ	2後		1							1
	韓国語Ⅰ	2前		1							1
	韓国語Ⅱ	2後		1							1
小計(23科目)	-	0	24	2	3	0	0	0	0	0	12
スポーツ・健康科目	生涯スポーツA	1前	1			1	1				2
	生涯スポーツB	1後	1			1	1				
	健康科学	1後	2			1					
小計(3科目)	-	4	0	0	1	1	0	0	0	0	2
初等・中等教育科目	情報機器演習A	1前	1								1
	情報機器演習B	1後	1								1
	基礎ゼミⅠ	1前	2			4	1				3
	基礎ゼミⅡ	1後	2			4	1				3
小計(4科目)	-	6	0	0	4	1	0	0	0	0	4

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
北陸学院科目	北陸学院セミナーⅠ	1通	1									1
	北陸学院セミナーⅡ	2通	1									1
	キリスト教概論Ⅰ	1前	1									1
	キリスト教概論Ⅱ	1後	1									1
	キリスト教人間論Ⅰ	2前	1									1
	キリスト教人間論Ⅱ	2後	1									1
	小計(6科目)	-	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2
一般教養科目	郷土の文学	1後		2								1
	日本国憲法	1前	2									1
	青年の心理	1前		2								1
	食と健康	1後		2								1
	政治学	1後		2								1
小計(5科目)	-	2	8	0	0	0	0	0	0	0	5	
大学共通科目 言語教育科目	日本語基礎	1前			1							1
	英語基礎	1前			1	1						
	英語AⅠ	1前		1								1
	英語AⅡ	1後		1								1
	英語BⅠ	1前		1								1
	英語BⅡ	1後		1								1
	英語CⅠ	1前		1								1
	英語CⅡ	1後		1								1
	英語DⅠ	1前		1								1
	英語DⅡ	1後		1								1
	英語EⅠ	1前		1				2				0
	英語EⅡ	1後		1				2				0
	英語FⅠ	1前		1								1
	英語FⅡ	1後		1								1
	アクティブ・イングリッシュA	1前		1		1						
	アクティブ・イングリッシュB	1前		2		1						
	アクティブ・イングリッシュC	1前		3		1						
	中国語Ⅰ	2前		1								1
	中国語Ⅱ	2後		1								1
	フランス語Ⅰ	2前		1								1
	フランス語Ⅱ	2後		1								1
	韓国語Ⅰ	2前		1								1
	韓国語Ⅱ	2後		1								1
小計(23科目)	-	0	24	2	3	0	0	0	0	0	0	9
スポーツ・健康科目	生涯スポーツA	1前	1			1	1					2
	生涯スポーツB	1後	1			1	1					
	健康科学	1後	2			1						
小計(3科目)	-	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
初等・中等教育科目	情報機器演習A	1前	1									1
	情報機器演習B	1後	1									1
	基礎ゼミⅠ	1前	2					1	0			0
	基礎ゼミⅡ	1後	2					1	0			0
小計(4科目)	-	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	キリスト教と教育	4前	2									2
	データサイエンス入門	1後	2									1
	データ分析と教育	2前	1			1						
	キャリアデザインⅠ	1前	1									1
	キャリアデザインⅡ	1後	1				1					
	キャリアデザインⅢ	2前	1				1					1
	キャリアデザインⅣ	2後	1									2
	キャリアデザインⅤ	3通	1									1
	キャリアデザインⅥ	4通	1									1
	プロゼミA	2前	2			3	1					4
	プロゼミB	2後	2			3	1					4
	専門ゼミⅠ	3通	4			7	2					9
	専門ゼミⅡ	4通	4			7	2					9
	卒業研究	4通		4		7	2					9
	地域社会と子ども	1前	2			3						2
	教育学概論	1前	2			1						
	教職論	2前	2									2
特別支援教育論	1後	2			1						3	
小計(18科目)		-	31	4	0	7	2	0	0	0	0	12
学部共通科目	コミュニケーション・イングリッシュ	1前	2									2
	ブラクティカル・イングリッシュ	1後	2									2
	キッズ・イングリッシュA	1前	2									2
	キッズ・イングリッシュB	1後	2									1
	シンプル・イングリッシュA	1前	2			1						
	シンプル・イングリッシュB	1後	2			1						
	スピーチ&ドラマ	2前	2									1
	エクステンシブ・リーディング	2前	2									1
	トラベル・イングリッシュA	2前	2									1
	トラベル・イングリッシュB	2後	2									1
	プレゼンテーション	2後	2									1
	ムービー・イングリッシュA	3前	2									1
	ムービー・イングリッシュB	3後	2									1
	ビジネス・イングリッシュA	3前	2									1
ビジネス・イングリッシュB	3後	2									1	
インテンシブ・リーディング	3前	2			1							
エッセイ・ライティング	3後	2			1							
バイブル・イングリッシュ	3後	2			2						1	
小計(18科目)		-	12	24	0	1	0	0	0	0	0	7
応用科目	音楽演習	4前		1								1
	教育史	3後		2		1						
	比較教育学	4前		2								1
	教育学文献講読A1	3前		2								1
	教育学文献講読A2	3前		2								1
	教育学文献講読B1	3後		2								1
	教育学文献講読B2	3後		2								1
	教育実践研究(幼保)	4前		2								2
	教育実践研究(小中高)	3後		2		2	1					1
小計(9科目)		-	0	17	0	3	1	0	0	0	0	6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹科目	キリスト教と教育	4前	2										2
	データサイエンス入門	1後	2										1
	データ分析と教育	2前	1					1					
	キャリアデザインⅠ	1前	1										2
	キャリアデザインⅡ	1後	1						1				1
	キャリアデザインⅢ	2前	1						1				1
	キャリアデザインⅣ	2後	1										2
	キャリアデザインⅤ	3通	1										1
	キャリアデザインⅥ	4通	1										1
	プロゼミA	2前	2					3	1				4
	プロゼミB	2後	2					3	1				4
	専門ゼミⅠ	3通	4					6	3				9
	専門ゼミⅡ	4通	4					6	3				9
	卒業研究	4通		4				6	3				9
	地域社会と子ども	1前	2					2	2				2
	教育学概論	1前	2					1					
	教職論	2前	2										2
特別支援教育論	1後	2					0					3	
小計(18科目)		-	31	4	0	6	3	0	0	0	0	12	
学部共通科目	コミュニケーション・イングリッシュ	1前	2					1					0
	ブラクティカル・イングリッシュ	1後	2										1
	キッズ・イングリッシュA	1前	2										1
	キッズ・イングリッシュB	1後	2										1
	シンプル・イングリッシュA	1前	2					1					
	シンプル・イングリッシュB	1後	2					1					
	スピーチ&ドラマ	2前	2										1
	エクステンシブ・リーディング	2前	2										1
	トラベル・イングリッシュA	2前	2										1
	トラベル・イングリッシュB	2後	2										1
	プレゼンテーション	2後	2										1
	ムービー・イングリッシュA	3前	2										1
	ムービー・イングリッシュB	3後	2										1
	ビジネス・イングリッシュA	3前	2										1
ビジネス・イングリッシュB	3後	2										1	
インテンシブ・リーディング	3前	2						1					
エッセイ・ライティング	3後	2						1					
バイブル・イングリッシュ	3後	2										1	
小計(18科目)		-	12	24	0	2	0	0	0	0	0	0	5
応用科目	音楽演習	4前		1									1
	教育史	3後		2				1					
	比較教育学	4前		2									1
	教育学文献講読A1	3前		2									1
	教育学文献講読A2	3前		2									1
	教育学文献講読B1	3後		2									1
	教育学文献講読B2	3後		2									1
	教育実践研究(幼保)	4前		2									2
	教育実践研究(小中高)	3後		2				1	2				1
小計(9科目)		-	0	17	0	2	2	0	0	0	0	0	6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	英語学概論	2前	2			1						
	発達心理学	2前	2									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育社会学	3前	2									1
	総合的な学習の時間の指導法	3後	1			1						
	教育の方法・技術(ICT活用の理論と実践を含む)	3前	2			1						
	道徳教育指導論	3後	2			1						
	教育課程編成論	3後	2			2						
	特別活動の理論と方法	3後	1			1						
	生徒指導論	3前	1			1						
	進路指導論	3前	1			1						
	教育相談	4前	2									1
	英語科指導法	3前	2			1						
	教職実践演習(小中高)	4後	2			3	1					
	介護等体験	3前	2			1						
	異文化間コミュニケーション論	2前	2									1
	児童文学	3前	2									1
小計(17科目)		—	20	10	0	5	1	0	0	0	5	
小学校教諭関連科目	国語	2後	2			1						1
	社会	2後	2				1					
	算数	2前	2			1						
	理科	2前	2			1						
	生活	1後	2				1					
	音楽	2前	2									1
	図画工作	1後	2									1
	家庭	2前	2			1						
	体育	3前	2			1	1					
	英語	2後	2			2						
	国語科指導法(書写を含む)	3前	2			1						
	社会科指導法	3前	2				1					
	算数科指導法	2後	2			1						
	理科指導法	2後	2			1						
	生活科指導法	2前	2				1					
	音楽科指導法	2後	2									1
	図画工作指導法	2前	2									1
家庭科指導法	2後	2									1	
体育科指導法	3前	2			1							
教育実習指導(小)	3前	1			3	1						
教育実習Ⅰ(小)	3前	4			3	1						
教育実習Ⅱ(小)	4前	2			3	1						
小計(22科目)		—	8	37	0	6	2	0	0	0	4	
中学校・高等学校教諭(英語)関連科目	英語学	2後	2			1						
	英語音声学Ⅰ	1前	2			1						
	英語音声学Ⅱ	1後	2			1						
	言語教育のための英文法Ⅰ	1前	2			1						
	言語教育のための英文法Ⅱ	1後	2			1						
	英語文学Ⅰ	3前	2									1
	英語文学Ⅱ	3後	2									1
	英語圏の児童文学	3後	2									1
	コミュニカティブ・イングリッシュA	2前	2			1						
	コミュニカティブ・イングリッシュB	2後	2			1						
	英語科教育法Ⅰ	2前	2			1						
	英語科教育法Ⅱ	2後	2			1						
	英語科教育法Ⅲ	3前	2			1						
	英語科教育法Ⅳ	3後	2			1						
	教育実習指導(中高)	3前	1			1						
	教育実習Ⅰ(中高)	3前	4			2						
	教育実習Ⅱ(中高)	4前	2			2						
小計(17科目)		—	0	35	0	2	0	0	0	0	1	
合計(142科目)		—	89	159	2	7	2	0	0	0	38	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	英語学概論	2前	2			1						
	発達心理学	2前	2									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育社会学	3前	2									1
	総合的な学習の時間の指導法	3後	1				1					
	教育の方法・技術(ICT活用の理論と実践を含む)	3前	2			1						
	道徳教育指導論	3後	2			1						
	教育課程編成論	3後	2			2						
	特別活動の理論と方法	3後	1			1						
	生徒指導論	3前	1			1						
	進路指導論	3前	1			1						
	教育相談	4前	2									1
	英語科指導法	3前	2			1						
	教職実践演習(小中高)	4後	2			3	1					
	介護等体験	3前	2			1						
	異文化間コミュニケーション論	2前	2									1
	児童文学	3前	2									1
小計(17科目)		—	20	10	0	5	1	0	0	0	5	
小学校教諭関連科目	国語	2後	2					0	1			1
	社会	2後	2						1			
	算数	2前	2			1						
	理科	2前	2			1						
	生活	1後	2				1					
	音楽	2前	2									1
	図画工作	1後	2									1
	家庭	2前	2					0				1
	体育	3前	2			1	1					
	英語	2後	2			2						
	国語科指導法(書写を含む)	3前	2			1		0	1			
	社会科指導法	3前	2				1					
	算数科指導法	2後	2			1						
	理科指導法	2後	2			1						
	生活科指導法	2前	2				1					
	音楽科指導法	2後	2									1
	図画工作指導法	2前	2									1
家庭科指導法	2後	2									1	
体育科指導法	3前	2			1							
教育実習指導(小)	3前	1			2	2						
教育実習Ⅰ(小)	3前	4			2	2						
教育実習Ⅱ(小)	4前	2			2	2						
小計(22科目)		—	8	37	0	5	3	0	0	0	5	
中学校・高等学校教諭(英語)関連科目	英語学	2後	2			1						
	英語音声学Ⅰ	1前	2			1						
	英語音声学Ⅱ	1後	2			1						
	言語教育のための英文法Ⅰ	1前	2			1						
	言語教育のための英文法Ⅱ	1後	2			1						
	英語文学Ⅰ	3前	2									1
	英語文学Ⅱ	3後	2									1
	英語圏の児童文学	3後	2									1
	コミュニカティブ・イングリッシュA	2前	2			1						
	コミュニカティブ・イングリッシュB	2後	2			1						
	英語科教育法Ⅰ	2前	2			1						
	英語科教育法Ⅱ	2後	2			1						
	英語科教育法Ⅲ	3前	2			1						
	英語科教育法Ⅳ	3後	2			1						
	教育実習指導(中高)	3前	1			1						
	教育実習Ⅰ(中高)	3前	4			2						
	教育実習Ⅱ(中高)	4前	2			2						
小計(17科目)		—	0	35	0	2	0	0	0	0	1	
合計(142科目)		—	89	159	2	6	3	0	0	0	37	

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 大学共通科目から24単位以上 内 北陸学院科目6単位、一般教養科目4単位以上、言語教育科目4単位以上、スポーツ・健康科目4単位、初年次教育科目6単位を履修すること。なお、言語教育科目については、英語科目2単位(英語AⅠと英語AⅡ、英語BⅠと英語BⅡ、英語CⅠと英語CⅡ、英語DⅠと英語DⅡ、英語EⅠと英語EⅡ、英語FⅠと英語FⅡのいずれかの組み合わせから一つを選択)を含むとともに、中国語、フランス語又は韓国語のいずれかを履修する場合はそれぞれⅠとⅡの組み合わせにより履修すること。</p> <p>学部共通科目から49単位以上 内 基幹科目31単位以上、英語特色科目12単位以上、応用科目6単位以上を履修すること。</p> <p>学科専門科目から40単位以上</p> <p>合計124単位以上</p> <p>【履修登録単位の上限】 半期25単位、年間49単位 上記の上限には以下の科目は含まれないものとする。 1.学外施設で行われる実習及び実習指導に関する科目、並びに集中講義 2.自由科目 3.学部共通科目における「英語特色科目」の選択科目 4.1年次修了時のGPAが3.0以上で、教育学部幼児教育学科に配置する科目の履修を許可された科目</p>

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 大学共通科目から24単位以上 内 北陸学院科目6単位、一般教養科目4単位以上、言語教育科目4単位以上、スポーツ・健康科目4単位、初年次教育科目6単位を履修すること。なお、言語教育科目については、英語科目2単位(英語AⅠと英語AⅡ、英語BⅠと英語BⅡ、英語CⅠと英語CⅡ、英語DⅠと英語DⅡ、英語EⅠと英語EⅡ、英語FⅠと英語FⅡのいずれかの組み合わせから一つを選択)を含むとともに、中国語、フランス語又は韓国語のいずれかを履修する場合はそれぞれⅠとⅡの組み合わせにより履修すること。</p> <p>学部共通科目から49単位以上 内 基幹科目31単位以上、英語特色科目12単位以上、応用科目6単位以上を履修すること。</p> <p>学科専門科目から40単位以上</p> <p>合計124単位以上</p> <p>【履修登録単位の上限】 半期25単位、年間49単位 上記の上限には以下の科目は含まれないものとする。 1.学外施設で行われる実習及び実習指導に関する科目、並びに集中講義 2.自由科目 3.学部共通科目における「英語特色科目」の選択科目 4.1年次修了時のGPAが3.0以上で、教育学部幼児教育学科に配置する科目の履修を許可された科目</p>

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

<p>・担当者変更により、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「北陸学院セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 「北陸学院セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 「特別支援教育論」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任3」から「兼任・兼任3」に変更。</p> <p>・担当科目の調整のため、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「英語EⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任3」から「教授2」に変更。 「英語EⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」「兼任・兼任3」から「教授2」に変更。 「英語FⅠ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 「英語FⅡ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 「コミュニケーション・イングリッシュ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「教授1」に変更。 「アソシエイト・イングリッシュ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 「キッズ・イングリッシュA」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・教授方法を変更したため、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」「兼任・兼任3」から「教授1」に変更。 「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」「兼任・兼任3」から「教授1」に変更。</p> <p>・教育効果を考え、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・金丸洋子教授の就任辞退に伴い、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「専門ゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授2」「兼任・兼任9」から「教授6」「准教授3」「兼任・兼任9」に変更。 「専門ゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授2」「兼任・兼任9」から「教授6」「准教授3」「兼任・兼任9」に変更。 「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授2」「兼任・兼任9」から「教授6」「准教授3」「兼任・兼任9」に変更。 「教育実践研究(小中高)」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「兼任・兼任1」から「教授1」「准教授2」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>「国語」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。 「家庭」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。 「国語科指導法(書写を含む)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 「教育実習指導(小)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。 「教育実習Ⅰ(小)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。 「教育実習Ⅱ(小)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。</p> <p>・金丸洋子教授の就任辞退、および担当者変更により、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。 「地域社会と子ども」の専任教員等の配置を「教授3」「兼任・兼任2」から「教授2」「准教授2」「兼任・兼任2」に変更。</p>
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
53 科目	87 科目	2 科目	142 科目	53 科目 [0]	87 科目 [0]	2 科目 [0]	142 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{142} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	27,894.00 m ²	— m ²	— m ²	27,894.00 m ²				
	運動場用地	11,684.00 m ²	— m ²	— m ²	11,684.00 m ²				
	小 計	39,578.00 m ²	— m ²	— m ²	39,578.00 m ²				
	そ の 他	17,310.67 m ²	— m ²	— m ²	17,310.67 m ²				
	合 計	56,888.67 m ²	— m ²	— m ²	56,888.67 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	14,239.56 m ² (14,239.56 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	14,239.56 m ² (14,239.56 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	23 室	26 室	11 室	3室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 2人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	教育学部 初等中等教育学科		9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	教育学部 初等中等教育学 科	182,844 [10,093] (173,222 [9,542])	156 [17] (156 [17])	11 [10] (11 [10])	4,067 (4,067)	4,172 (4,140)	— (—)		
	計	182,844 [10,093] (173,222 [9,542])	156 [17] (156 [17])	11 [10] (11 [10])	4,067 (4,067)	4,172 (4,140)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	1,926 m ²		285 席	190,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,240 m ²		コゝルポハッティンククグリーン 1面		テニスコート 3面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	580千円	580千円	580千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	—	—	—	
	学生 1人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,320 千円	1,120 千円	1,120 千円	1,120 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入及び資産運用収入等をもって賄う							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北陸学院大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	4	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
教育学部	4	70	-	280	-	0.48	-	0.48	-	-	令和5	-						
幼児教育学科	4	45	-	180	学士(教育学)	0.46	-	0.46	-	-	令和5	石川県金沢市三小半町イ11番地						
初等中等教育学科	4	25	-	100	学士(教育学)	0.52	-	0.52	-	-	令和5	同上						
社会学部	4	95	-	380	学士(社会学)	0.50	-	0.50	-	-	令和5	-						
社会学科	4	95	-	380	学士(社会学)	0.50	-	0.50	-	-	令和5	同上						
健康科学部	4	65	3年次2	264	学士(栄養学)	0.61	-	0.61	-	-	令和5	-						
栄養学科	4	65	3年次2	264	学士(栄養学)	0.61	-	0.61	-	-	令和5	同上						
人間総合学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成20	-						
子ども教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	-	-	平成24	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
大学全体	4	230	3年次2	924	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開校)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 初等中等教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 圭子 (58) ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		生涯スポーツA 生涯スポーツB プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 体育 体育科指導法
専	教授	宮浦 国江 (72) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		英語基礎 英語E I 英語E II アクティブ・イングリッシュA アクティブ・イングリッシュC プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 英語学概論 英語科指導法 英語学 英語音声学I 英語音声学II コミュニケーション・イングリ ッシュB 英語科教育法I 英語科教育法IV 教育実習I(中高) 教育実習II(中高)
専	教授	伊藤 雄二 (66) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		アクティブ・イングリッシュB 基礎ゼミI 基礎ゼミII 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 地域社会と子ども 教職実践演習(小中高) 英語 言語教育のための英文法I 言語教育のための英文法II コミュニケーション・イングリ ッシュA 英語科教育法II 英語科教育法III 教育実習指導(中高) 教育実習I(中高) 教育実習II(中高)

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 圭子 (58) ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		生涯スポーツA 生涯スポーツB プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 体育 体育科指導法
専	教授	宮浦 国江 (72) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		英語基礎 英語E I 英語E II アクティブ・イングリッシュA アクティブ・イングリッシュC プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 コミュニケーション・イン グリッシュ 英語学概論 英語科指導法 英語学 英語音声学I 英語音声学II コミュニケーション・イングリ ッシュB 英語科教育法I 英語科教育法IV 教育実習I(中高) 教育実習II(中高)
専	教授	伊藤 雄二 (66) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		アクティブ・イングリッシュB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 地域社会と子ども 教職実践演習(小中高) 英語 言語教育のための英文法I 言語教育のための英文法II コミュニケーション・イングリ ッシュA 英語科教育法II 英語科教育法III 教育実習指導(中高) 教育実習I(中高) 教育実習II(中高)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村井 万寿夫 (66) 〈令和5年4月〉 博士(教育学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ データ分析と教育 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教育学概論 特別支援教育論※ 教育史 総合的な学習の時間の指導法 教育の方法・技術(ICT活用の理論と実践を含む) 道徳教育指導論 教育課程編成論※ 特別活動の理論と方法 生徒指導論 進路指導論 教職実践演習(小中高) 介護等体験 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
専	教授	川真田 早苗 (59) 〈令和5年4月〉 博士(学校教育学)
		プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教育課程編成論※ 算数 理科 算数科指導法 理科指導法 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
専	教授	中野 聡 (66) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		英語EⅡ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども シンプル・イングリッシュA シンプル・イングリッシュB インテンシブ・リーディング エッセイ・ライティング 教育実践研究(小中高)※ 教職実践演習(小中高) 英語
専	教授	金丸 洋子 (75) 〈令和5年4月〉 学士(教育)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども 教育実践研究(小中高)※ 国語 家庭 国語科指導法(書写を含む) 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村井 万寿夫 (66) 〈令和5年4月〉 博士(教育学)
		データ分析と教育 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教育学概論 教育史 総合的な学習の時間の指導法 教育の方法・技術(ICT活用の理論と実践を含む) 道徳教育指導論 教育課程編成論※ 特別活動の理論と方法 生徒指導論 進路指導論 教職実践演習(小中高) 介護等体験 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
専	教授	川真田 早苗 (59) 〈令和5年4月〉 博士(学校教育学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教育課程編成論※ 算数 理科 算数科指導法 理科指導法 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
専	教授	中野 聡 (66) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		英語EⅡ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども シンプル・イングリッシュA シンプル・イングリッシュB インテンシブ・リーディング エッセイ・ライティング 教育実践研究(小中高)※ 教職実践演習(小中高) 英語
専	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永山 亮一 (56) 〈令和5年4月〉 教育学修士
		生涯スポーツA 生涯スポーツB 健康科学 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 体育
専	准教授	福江 厚啓 (47) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教育実践研究(小中高)※ 教職実践演習(小中高) 社会 生活 社会科指導法 生活科指導法 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
兼任	教授	中島 賢介 (55) 〈令和5年9月〉 修士(文学)
		郷土の文学 キリスト教と教育 キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教職論※ 教育学文献講読A2 児童文学 国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		石上 佐知子 (56) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
専	准教授	専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども 教育実践研究(小中高)※ 国語 国語科指導法(書写を含む) 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
兼任	講師	金丸 洋子 (76) 〈令和6年4月〉 学士(教育)
		家庭
専	准教授	永山 亮一 (56) 〈令和5年4月〉 教育学修士
		生涯スポーツA 生涯スポーツB 健康科学 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 体育
専	准教授	福江 厚啓 (47) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども 教育実践研究(小中高)※ 教職実践演習(小中高) 社会 生活 社会科指導法 生活科指導法 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)
兼任	教授	中島 賢介 (55) 〈令和5年9月〉 修士(文学)
		郷土の文学 キリスト教と教育 キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 教職論※ 教育学文献講読A2 児童文学 国語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	虫明 淑子 (53) 〈令和6年4月〉 修士(教育学)
		プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 教職論※ 教育学文献講読B2 教育実践研究(幼保)※
兼任	教授	ポーター 倫子 (62) 〈令和5年9月〉 Doctor of Philosophy(米国)
		専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 特別支援教育論※ 比較教育学 教育学文献講読B1 教育実践研究(幼保)※ 異文化間コミュニケーション論
兼任	准教授	齊藤 英俊 (40) 〈令和6年4月〉 修士(教育学)
		プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 教育学文献講読A1 発達心理学 教育心理学
兼任	講師	向出 圭吾 (61) 〈令和5年4月〉 学士(教育学)
		北陸学院セミナーI 北陸学院セミナーII 基礎ゼミI 基礎ゼミII キャリアデザインIII キャリアデザインIV 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 地域社会と子ども
兼任	講師	谷 昌代 (49) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		基礎ゼミI 基礎ゼミII 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 特別支援教育論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	虫明 淑子 (53) 〈令和6年4月〉 修士(教育学)
		プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 教職論※ 教育学文献講読B2 教育実践研究(幼保)※
兼任	教授	ポーター 倫子 (62) 〈令和5年9月〉 Doctor of Philosophy(米国)
		専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 特別支援教育論※ 比較教育学 教育学文献講読B1 教育実践研究(幼保)※ 異文化間コミュニケーション論
兼任	准教授	齊藤 英俊 (40) 〈令和6年4月〉 修士(教育学)
		プロゼミA プロゼミB 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 教育学文献講読A1 発達心理学 教育心理学
兼任	准教授	崎浜 聡 (47) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		キャリアデザインI キャリアデザインIII キャリアデザインIV 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 地域社会と子ども
兼任	講師	谷 昌代 (50) 〈令和5年9月〉 修士(教育学)
		キャリアデザインII 専門ゼミI 専門ゼミII 卒業研究 特別支援教育論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松本 理沙 (37) 〈令和5年4月〉 博士(社会福祉学)
		キャリアデザインⅠ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究
兼任	講師	高村 真希 (40) 〈令和5年4月〉 修士(文学・教育学)
		キャリアデザインⅣ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども
兼任	助教	武田 恵美 (41) 〈令和5年4月〉 修士(音楽)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 音楽演習 音楽 音楽科指導法
兼任	教授	楠本 史郎 (71) 〈令和5年4月〉 神学修士
		キリスト教概論Ⅰ キリスト教概論Ⅱ キリスト教と教育
兼任	教授	若山 将実 (47) 〈令和5年9月〉 博士(総合政策)
		政治学
兼任	教授	矢澤 励太 (47) 〈令和5年4月〉 Doctor of Philosophy (7/リカ)
		北陸学院セミナーⅠ 北陸学院セミナーⅡ キリスト教人間論Ⅰ キリスト教人間論Ⅱ
兼任	教授	池村 努 (57) 〈令和5年4月〉 修士(情報)
		情報機器演習A 情報機器演習B データサイエンス入門
兼任	准教授	松下 健 (45) 〈令和8年4月〉 博士(人間科学)
		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松本 理沙 (37) 〈令和5年4月〉 博士(社会福祉学)
		キャリアデザインⅠ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究
兼任	講師	高村 真希 (40) 〈令和5年4月〉 修士(文学・教育学)
		キャリアデザインⅣ プロゼミA プロゼミB 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 地域社会と子ども
兼任	講師	武田 恵美 (41) 〈令和5年4月〉 修士(音楽)
		専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 卒業研究 音楽演習 音楽 音楽科指導法
兼任	教授	楠本 史郎 (71) 〈令和5年4月〉 神学修士
		キリスト教概論Ⅰ キリスト教概論Ⅱ キリスト教と教育
兼任	教授	若山 将実 (47) 〈令和5年9月〉 博士(総合政策)
		政治学
兼任	教授	矢澤 励太 (47) 〈令和5年4月〉 Doctor of Philosophy (7/リカ)
		北陸学院セミナーⅠ 北陸学院セミナーⅡ キリスト教人間論Ⅰ キリスト教人間論Ⅱ
兼任	教授	池村 努 (57) 〈令和5年4月〉 修士(情報)
		データサイエンス入門
兼任	教授	松下 健 (45) 〈令和8年4月〉 博士(人間科学)
		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	竹中 祐二 (44) 〈令和7年4月〉 博士(福祉社会学)
		教育社会学
兼任	助教	木村 ゆかり (53) 〈令和5年4月〉 TESOL, Master of Education (オーストラリア)
		英語 F I 英語 F II キッズ・イングリッシュ A キッズ・イングリッシュ B
兼任	教授	富岡 和久 (63) 〈令和5年4月〉 農学修士
		情報機器演習 A 情報機器演習 B
兼任	講師	俵 万里子 (53) 〈令和5年9月〉 修士(保健学)
		食と健康
兼任	講師	Katherine Lurae Shreves (34) 〈令和5年4月〉 Master of Arts and Cultural Management(スコットランド)
		英語 B I 英語 B II キッズ・イングリッシュ A
兼任	講師	Matthew Ryan Bosch (47) 〈令和5年4月〉 修士(TESOL)(米国)
		英語 E I 英語 E II コミュニケーション・イングリッシュ ブラクティカル・イングリッシュ ムービー・イングリッシュ A ムービー・イングリッシュ B バイブル・イングリッシュ
兼任	講師	清水 實 (73) 〈令和5年4月〉 文学士
		日本語基礎
兼任	講師	Duggan Anthony John (43) 〈令和5年4月〉 Doctor of Economics (ニュージーランド)
		英語 A I 英語 A II スピーチ&ドラマ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	内田 啓太郎 (51) 〈令和7年4月〉 修士(社会学)
		教育社会学
兼任	助教	木村 ゆかり (53) 〈令和5年4月〉 TESOL, Master of Education (オーストラリア)
		英語 F I 英語 F II キッズ・イングリッシュ A キッズ・イングリッシュ B
兼任	教授	富岡 和久 (63) 〈令和5年4月〉 農学修士
		情報機器演習 A 情報機器演習 B
兼任	講師	俵 万里子 (53) 〈令和5年9月〉 博士(保健学)
		食と健康
兼任	講師	Matthew Ryan Bosch (47) 〈令和5年4月〉 修士(TESOL)(米国)
		英語 B I 英語 B II ムービー・イングリッシュ A ムービー・イングリッシュ B バイブル・イングリッシュ
兼任	講師	清水 實 (73) 〈令和5年4月〉 文学士
		日本語基礎
兼任	講師	Duggan Anthony John (43) 〈令和5年4月〉 Doctor of Economics (ニュージーランド)
		英語 A I 英語 A II スピーチ&ドラマ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Carla Jane Curry (53) <令和5年4月> 修士(TRSL)(アメリカ)
		英語C I 英語C II
兼任	講師	Eric Mornin Clement (58) <令和5年4月> 学士Geography/Anthropology(加 州)
		英語D I 英語D II コミュニケーション・イン グリッシュ
兼任	講師	白井 雅代 (66) <令和5年4月> 修士(教育)
		英語E I 英語E II
兼任	講師	本間 千重子 (70) <令和5年4月> 文学士
		英語E I 英語E II 英語F I 英語F II エクステンシブ・リーディング トラベル・イングリッシュA トラベル・イングリッシュB プレゼンテーション ビジネス・イングリッシュA ビジネス・イングリッシュB
兼任	講師	Raker Vincent Eric (55) <令和5年9月> 学士Psychology(アメリカ)
		プラクティカル・イングリ ッシュ
兼任	講師	渡邊 彩奈 (35) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	濱西 和子 (75) <令和6年4月> 文学修士(フランス)※
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	熊谷 史佳 (31) <令和5年4月> 修士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Carla Jane Curry (53) <令和5年4月> 修士(TRSL)(アメリカ)
		英語C I 英語C II
兼任	講師	Eric Mornin Clement (58) <令和5年4月> 学士Geography/Anthropology(加 州)
		英語D I 英語D II
兼任	講師	本間 千重子 (71) <令和6年4月> 文学士
		エクステンシブ・リーディング トラベル・イングリッシュA トラベル・イングリッシュB プレゼンテーション ビジネス・イングリッシュA ビジネス・イングリッシュB
兼任	講師	Raker Vincent Eric (55) <令和5年9月> 学士Psychology(アメリカ)
		プラクティカル・イングリ ッシュ
兼任	講師	渡邊 彩奈 (35) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	濱西 和子 (75) <令和6年4月> 文学修士(フランス)※
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	熊谷 史佳 (31) <令和5年4月> 修士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木藤 由麻 (46) 〈令和5年4月〉 短期大学
		生涯スポーツA
兼任	講師	田中 早苗 (49) 〈令和5年9月〉 修士(教育学)
		特別支援教育論※
兼任	講師	土屋 仁美 (44) 〈令和5年4月〉 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	木梨 由利 (74) 〈令和7年4月〉 修士(文学)
		英語文学Ⅰ 英語文学Ⅱ 英語圏の児童文学
兼任	講師	鷺山 靖 (60) 〈令和5年9月〉 教育学修士
		図画工作 図画工作指導法
兼任	講師	荒井 紀子 (74) 〈令和6年9月〉 教育学修士
		家庭科指導法
兼任	講師	戸田 教一 (81) 〈令和7年9月〉 教育学士
		教育実践研究(小中高)※
兼任	講師	上農 肇 (66) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		青年の心理
兼任	講師	金正逸 (58) 〈令和6年4月〉 博士(芸術)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木藤 由麻 (46) 〈令和5年4月〉 短期大学
		生涯スポーツA
兼任	講師	田中 早苗 (49) 〈令和5年9月〉 修士(教育学)
		特別支援教育論※
兼任	講師	土屋 仁美 (44) 〈令和5年4月〉 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	木梨 由利 (74) 〈令和7年4月〉 修士(文学)
		英語文学Ⅰ 英語文学Ⅱ 英語圏の児童文学
兼任	講師	鷺山 靖 (60) 〈令和5年9月〉 教育学修士
		図画工作 図画工作指導法
兼任	講師	荒井 紀子 (74) 〈令和6年9月〉 教育学修士
		家庭科指導法
兼任	講師	戸田 教一 (81) 〈令和7年9月〉 教育学士
		教育実践研究(小中高)※
兼任	講師	上農 肇 (66) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		青年の心理
兼任	講師	金正逸 (58) 〈令和6年4月〉 博士(芸術)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の授業科目名を記入するとともに、下段に:

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

・担当科目の調整により、「コミュニケーション・イングリッシュ」の担当を、マシュー ライアン ポッシュ講師（兼任）およびエリック モーニン クレメント講師（兼任）から、宮浦国江教授に変更。

・教授方法の変更により、「基礎ゼミⅠ」および「基礎ゼミⅡ」の授業担当者を、複数の教員による担当から、川真田早苗教授の単独による担当に変更。（伊藤雄二教授、村井万寿夫教授、中野聡教授、永山亮一准教授、金丸洋子教授、向出圭吾講師（兼任）、谷昌代講師（兼任）、武田恵美講師（兼任）の担当科目から削除）

・金丸洋子教授の就任辞退に伴い、石上佐知子准教授が就任。担当科目は、「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「卒業研究」「地域社会と子ども」「教育実践研究（小中高）」「国語」「国語科指導法（書写を含む）」「教育実習指導（小）」「教育実習Ⅰ（小）」「教育実習Ⅱ（小）」。「家庭」は、講師（兼任）として金丸洋子氏が担当。

・授業担当者変更により、村井万寿夫教授の担当科目から「特別支援教育論」を削除。（「特別支援教育論」は、ポーター倫子教授（兼任）、谷昌代講師（兼任）、田中早苗講師（兼任）が担当。）

・授業担当者変更により、福江厚啓准教授の担当科目に「地域社会と子ども」を追加。

・向出圭吾講師（兼任）の就任辞退により、崎浜聡准教授（兼任）が就任。向出圭吾講師（兼任）の就任辞退に伴う崎浜聡准教授（兼任）の担当科目は、「キャリアデザインⅢ」「キャリアデザインⅣ」「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「卒業研究」「地域社会と子ども」。「北陸学院セミナーⅠ」「北陸学院セミナーⅡ」は、担当者の変更により、矢澤勲太教授（兼任）が単独で担当。

・教育効果を考え、「キャリアデザインⅠ」の担当者に崎浜聡准教授（兼任）を追加。

・教育効果を考え、「キャリアデザインⅡ」の担当者に谷昌代講師（兼任）を追加。

・職位変更により、武田恵美助教（兼任）を講師（兼任）に変更。

・授業担当者変更により、池村努教授（兼任）の担当科目から「情報機器演習A」「情報機器演習B」を削除。（「情報機器演習A」「情報機器演習B」は、富岡和久教授（兼任）が単独で担当。）

・職位変更により、松下健准教授（兼任）を教授（兼任）に変更。

・竹中祐二准教授（兼任）の就任辞退に伴い、内田啓太郎准教授（兼任）が就任し、「教育社会学」を担当。

・キャサリン ルーレイ シュリーヴズ講師（兼任）の就任辞退により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」の担当を、マシュー ライアン ポッシュ講師（兼任）に変更。「キッズ・イングリッシュA」は、木村ゆかり助教（兼任）が単独で担当。

・授業担当予定者の担当コマ数調整のため、マシュー ライアン ポッシュ講師（兼任）の担当科目から「プラクティカル・イングリッシュ」を削除。（「プラクティカル・イングリッシュ」は、レイカー ウィンセント エリック講師（兼任）が単独で担当。）

・担当科目の調整により、マシュー ライアン ポッシュ講師（兼任）、白井雅代講師（兼任）、および本間千重子講師（兼任）の担当科目から「英語EⅠ」「英語EⅡ」を削除。

・担当科目の調整により、本間千重子講師（兼任）の担当科目から「英語FⅠ」「英語FⅡ」を削除。

・保有学位の変更により、俵万里子講師（兼任）の保有学位を修士（保健学）から博士（保健学）に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	3
5	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	2	0	0	9	0	6	3	0	0	9	0
(6)	(3)	0	0	(9)	0						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	3	0	0	9	0	6	3	0	0	9	0
[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員のうち、 定年を延長して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員のうち、 定年を延長して採用する 教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{9} = \boxed{44.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	金丸 洋子	R5.3	必修	基礎ゼミⅠ	①	R5.3自己都合のため就任辞退（5）
				必修	基礎ゼミⅡ	①	
				必修	専門ゼミⅠ	①	
				必修	専門ゼミⅡ	①	
				選択	卒業研究	①	
				必修	地域社会と子ども	①	
				選択	教育実践研究（小中高）	①	
				必修	国語	①	
				選択	家庭	②	
				選択	国語科指導法（書写を含む）	①	
				選択	教育実習指導（小）	①	
				選択	教育実習Ⅰ（小）	①	
選択	教育実習Ⅱ（小）	①					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	6 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	12 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	6 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	12 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退した専任教員の担当する授業科目については、同分野を専門とする専任教員を補充採用、または、同教員が兼任講師として授業を担当しており、交代による影響はない。また、学生への周知については、オリエンテーション時の説明や時間割、シラバス等で行っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 【届出】 遵守事項	本学における定年は満65歳であり、特別に定めるときには再任用することができることとしている。また、十分な教育研究業績を持つ教員を配置したことから、完成年度における60歳以上の年齢構成比が高くなっている。 今後、研究活動・研究業績を踏まえ、若手教員の採用が想定されている。後任の補充計画も含め、年齢構成が高齢に偏らず、教育研究の継続に支障のない教員組織とする計画である。(5)	年齢構成は正への具体的な対応として、「将来計画委員会」を立ち上げて採用計画を練る。完成年度後の教員組織の計画について、30～50歳代の若手教員を含む後任の補充計画を策定していく。(5)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 幼児教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 北陸学院大学FD部会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(令和4年度) 年5回開催 構成員：教員5名（各学科から選出）、事務局3名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業参観に関する事項・ 授業評価アンケートに関する事項・ 研修会の実施に関する事項・ シラバス（教授要目）作成に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 授業参観</p> <p>前期、後期に授業公開週間を設定し、自らの授業・業務の振り返り、改善のヒントを得る事を趣旨として実施した。教員には最低1科目の参観を義務付けている。（職員は任意。）参観後、感想、提案等をサーバー内の「授業参観記録簿」に記名、記入することで教員にフィードバックを行っている。</p> <p>(2) 授業評価アンケート</p> <p>前期、後期に全ての科目についてポータルサイトよりアンケートを実施している。</p> <p>(3) FD研修会</p> <p>第1回FD・SD研修会</p> <p>テーマ：心肺蘇生とAEDの使い方（日本赤十字社石川県支部 指導員）</p> <p>日時：2022年8月23日（火）13時～16時</p> <p>第2回FD研修会</p> <p>テーマ：アセスメント・ポリシーの意義と可能性（新島学園短期大学 学長 岩田 雅明）</p> <p>日時：2023年2月15日（木）13時～16時20分</p> <p>(4) シラバス（教授要目）作成に関するマニュアルの精査及びチェック作業</p> <p>文部科学省、厚生労働省の指導のとおり、詳細な授業計画、授業内容が明確に記載されたシラバスを学生に示すために、マニュアルを作成し、全教員に提示している。</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) 授業参観</p> <p>全教職員宛てに授業公開週間期間と授業参観記録簿への記入についてメール配信で通知を行う。</p>
--

(2) 授業評価アンケート

教務係よりアンケートの実施について事前に学生に案内。最終授業時間を使用して授業評価アンケートを実施。

(3) FD研修会

予め学事暦上で年2回のFD研修会の日程を明記し、全教員が参加することを義務付けている。やむを得ず欠席する教員は事前に欠席理由書を学部長に提出し、後日録画視聴のうえ感想の提出を求めている。時期が近付いた時点で改めてメールで案内を行う。

(4) FD部会員がマニュアルの記載内容について確認を行い教員に提示。シラバス入力期間終了後、全てのシラバスをFD部会員、教務部長、学科教務担当教員による第3者チェックを行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業参観

全教員が最低1科目の参観を行った。期間終了後、参観記録簿に記載された内容について、確認が必要と思われる事項についてはFD部会長が対応した。

(2) 授業評価アンケート

前期及び後期の期末に「授業評価アンケート」を実施した。

(3) FD研修会

第1回FD・SD研修会

テーマ：心肺蘇生とAEDの使い方（日本赤十字社石川県支部 指導員）

日時：2022年8月23日（火）13時～16時 全教職員が研修を受けた（ビデオ視聴含む）

第2回FD研修会

テーマ：アセスメント・ポリシーの意義と可能性（新島学園短期大学 学長 岩田 雅明）

日時：2023年2月15日（木）13時～16時20分 全教員が研修を受けた（ビデオ視聴を含む）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学期終了ごとに、各授業における問題点、課題、担当科目間の連携等に関して意見を聴取し、寄せられた意見、課題等について、教学マネジメント委員会において、確認を行い、それらの改善に向けたFD研修の実施に繋げている。また、FD研修会で取り上げるほどではないが、ニーズのあるテーマについては、「miniFD研修会」という形式で、本学教員が講師となり研修会を開催し、教員間での授業に関する課題の共有、解決する機会を設けている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期それぞれ各授業の最終週の授業時間内を使用して「授業評価アンケート」（Webによる）を全科目において実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

I R係が集計を行い、集計結果を教学マネジメント委員会が確認し、速やかに確認が必要と思われる事項については、個別で対応を行っている。集計結果は各教員に提示し、評価に対する所見及び学生のコメントに対するフィードバックの提出を求めている。（任意）学生には、全ての結果が教学・学生支援センター内のPCから閲覧可能であることを周知している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するため、各種研修の機会を設け、継続的な取り組みを行っている。
学内での共有と理解は行われていると判断する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年7月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

本学は、2021（令和3）年度に、公益財団法人日本高等教育評価機構（機関別認証評価）を受審し、認定を受けた。
教育学部を含む大学評価は、2027（令和9）年度に取りまとめ、2028（令和10）年度に受審の予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。